

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	航空宇宙総論 (Aerospace Research Project)		
ナンバリングコード	N41803	大分類 / 難易度 科目分野	航空宇宙工学科 専門科目 / 総合レベル 学び直し
単位数	2	配当学年 / 開講期	4年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	N180301	クラス名	-
担当教員名	中山 周一、藤田 浩輝		
履修上の注意、 履修条件	以下を主体に授業を進めますので、必要に応じ4年生は履修するようにして下さい。 ・航空宇宙学科を修めるにあたって社会から求められる要件の認識や修得/補完 ・就業に臨んでの有益情報		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	必要に応じて講義で紹介します。		
関連科目	レベルアップA		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自分の将来に関心を持ち、真摯に選択した進路での活躍を望む		30点	
【知識・理解】	航空宇宙関連の基本知識を確かに備え、それらを他業界での業務にも応用ができる		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	就業後の職務に必要な基礎技能・表現・コミュニケーション能力を身に付けている		20点	
【思考・判断・創造】	自分の適性やグローバルな視点からの判断・思考ができる		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
授業中にレポート等の講評・解説を行う。	

○基本情報			
授業の目的	航空宇宙総論では、航空宇宙工学科ディプロマポリシー「航空機や宇宙機器の設計・製造・運航・整備に関して基礎理論及び知識を体系的に理解している。」に関連して以下を目的とする。 1) 航空宇宙工学全体の知識の総まとめ 2) 就職/就業に関連した情報の共有		
授業の概要	授業実施の時期に合わせて以下をアレンジした講義や演習を行う。 ・航空宇宙関連の有益知識と状況の認識 航空宇宙に関する工学トピックスや動向の紹介 ・グローバル対応実践 航空宇宙業界の現場で活用されている実用文書類をもとに、他業界でも広く求められるグローバルな 事項や対処についての基礎実践 ・就職/就業に関する情報授受 各自の就職活動に関する状況把握/個別の相談や就業に際しての基礎情報		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	航空機製造メーカーにおける実機開発経験に基づき、航空宇宙産業で求められる資質について教授。		

○その他	

